

労働安全衛生マネジメント

積水ハウスでは従業員ならびに委託業者の安全・健康を第一に考え、日々業務を行っています。労働災害が発生した場合、事務・生産・施工部門ごとに安全衛生委員会で事例を共有し、職場の安全衛生に関するPDCAサイクルを回しています。

労働災害度数率・業務上疾病度数率

2015年度の労働災害件数は昨年度から減少しました。引き続き、安全衛生意識を高める、注意力の欠如を招くような超過勤務を減らすなどの対策を一層強化していきます。

■ 2015年度 労働災害度数率/業務上疾病度数率

(休業1日以上を集計)

部門	労働災害度数率	業務上疾病度数率
事務部門(従業員*)	0.3	0.0
生産部門	従業員*	0.0
	委託業者	0.0
施工部門(委託業者のみ)	3.0	0.2

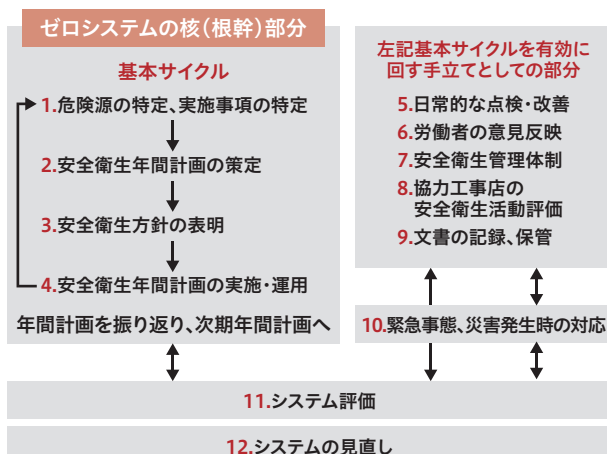
※積水ハウス単体

独自の「積水ハウス危険ゼロシステム」を運用

特に、より危険な作業が伴う施工現場については、専門部署である安全指導室を設置し、労働災害の発生防止に努めています。

仕組みとして、厚生労働省が推奨している「労働安全衛生マネジメントシステム」に施工現場の特性を加味した独自の「積水ハウス危険ゼロシステム」を構築。全社および事業所ごとに毎年作成する「施工安全衛生年間計画」をベースとして、当社や協力会社の従業員が安全で健康に働けるよう、安全衛生管理活動を展開しています。

■ 「積水ハウス危険ゼロシステム」の概要



施工現場での労働安全衛生活動

施工に携わるすべての従事者の労働安全衛生の確保は、住宅メーカーである積水ハウスの社会的責任であり、重点的に取り組むべき項目の一つです。当社では施工従事者が安全・安心に働くことができるよう、2015年度の「全社施工安全衛生年間計画」では「墜転落災害と電動工具等災害の撲滅」「全員参加意識の醸成」を掲げ、災害防止対策や事業主研修等を実施しました。

2015年度スローガン「作業前にひと呼吸 全員参加で本音のKYヨシ!」を掲げ、当社の年間計画をもとに協力会社事業主は安全宣言を公表。施工管理者とともに日常管理を強化し、職長・職方への作業指導につなげ、日常的に安全点検や作業手順書による正しい動作を身につけて主体的にKY(危険予知)活動とその実行を期しました。当社はその支援・フォローとして事業主研修を実施し、必要な備品の支給、脚立・外部足場・電動工具等の安全点検帳票を配布し、年間計画スケジュールにて月・期単位で進捗を把握し、PDCAサイクルを回しながら安全レベルの向上を図りました。

また、工事関係者全員に対して、災害防止対策や安全衛生教育研修を実施。2015年度も「事業主研修」や「安全推進大会」などの研修を実施し、延べ5万736人が受講しました。また、2012年からは強化月間(7月は安全の月、12月は特別強化月間)を設定し、夏場の熱中症や年末年始の災害防止、墜転落災害等の低減対策を実施しています。

今後も当社グループと協力会社が一体となって、主体的、創造的に労働環境改善、労働災害発生防止に取り組んでいきます。



「安全週間」啓発ポスター



強調期間の啓発ポスター